

令和5年度 第1学年『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価規準

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽 り	鑑賞
＜導入＞ どんな うたが あるかな ～ 「かたつむり」 (7 時間扱い・4～5 月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
		思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	主体的に学びに取り組む態度	歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽 り	鑑賞
リズムと なかよし (6 時間扱い・ 6～7 月)	知識・技能	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。				○
		思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○		○	
	思考・判断・表現	リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	主体的に学びに取り組む態度	拍に合わせていろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽 り	鑑賞
＜おとの スケッチ＞ ことばの リズムで あそぼう (2 時間扱い・7 月)	知識・技能	言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
		発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	リズムや音色などを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉とリズムとの関わりや、打楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
くにっぽんのうた みんなのうた＞ 「うみ」(共通教材) (2時間扱い・7月)	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
		思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
どれみと なかよし (4時間扱い・9月)	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
		音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
こんにちは けんぱんハーモニカ＞ (2時間＋毎時 9～10月)	知識・技能	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
		鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例	歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
-----------------------	----------	----	----	------	----

もりあがりを かんじて (2 時間扱い・10 月)	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
		思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい おと みつけて (7 時間扱い・11～12 月)	知識・技能	打楽器の音の響きの特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
		発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜おとの スケッチ＞ ねこの なきごえで あそぼう (3 時間扱い・12 月)	知識・技能	声の高さや強弱、様々な声の出し方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
		発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
きょくの ながれ (3 時間扱い・1 月)	知識	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
くめざせ がっきめいじん 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	知識・技能	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
		思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
うたで まねっこ (4 時間扱い・1 ～2 月)	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
		思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音楽り	鑑賞
みんなで あわせて (3 時間扱い・2 ～3 月)	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
		思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	

		に付けている。				
	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	音楽が表している情景を想像しながら聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくをつくろう (4 時間扱い・3 月)	知識・技能	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
		発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目